

# Outline

## パチンコ・パチスロ産業 14 団体共催／賀詞交歓会

1月25日／東京・新橋 第一ホテル東京

### リカバリーサポート・ネットワークを『21世紀』として支援、業界4団体が固く握手!!、ホール5団体は『風営法検討会』を設置!!

「宣言」と共に5団体代表がスクラム!!、来賓の加藤保安課長は祝辞で言及!! 「闇スロへの4号機使用の根絶、“完全回収”に向けた主体的な取組み」を評価

業界 14 団体共催の『パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会』が、盛大に開催された。原田、市原、里見ら各代表の挨拶に続き、昨年12月の『パチンコ・パチスロ産業 21 世紀』で「14 団体からの支援」が決定したリカバリーサポート・ネットワーク西村直之代表を交え、4 団体トップが固い握手で意思確認。西村代表は謝辞と共に「娘案の楽しい部分はプロである皆様にどんどん伸ばしてもらって、リスクの部分は私達が精一杯取組み、何が起って何をしたらいいのかを発信していきたい」と抱負を披瀝。更に【ホール5 団体宣言】として『ホール5 団体風営法検討会』の設置等を発表、こちらも5 団体トップが固い握手で“統一行動”を誓った。加藤警察庁保安課長らが祝辞を。



来賓、業界関係者430名以上が参加。宣言文朗読やセレモニーの後、深谷日遊協会長の乾杯の発声により祝宴が開幕

#### 「ホール5 団体宣言」

全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余額環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会の5団体は、以下の通り宣言する。

記

パチンコ産業は80年の歴史を有し、その間の先人のたゆみないご努力と、風営法を所管する行政当局のご協働により、現在では売上高21兆円といわれる大産業に発展し、「身証で手続な大衆娯楽」の地位を確立しております。

しかしながら、近年の長引く不況、少子高齢化社会等の社会経済情勢の変化に伴い、我々の産業界が全体的に低迷の状況をおぼやかされてきていることは、皆様方がご承知のとおりであります。

このような現状に鑑み、私達ホール5団体は、現行法令のコンプライアンス遵守による健全化の一層の推進はもとよりのこととして、風営法令及びその運用について検討するための「ホール5 団体風営法検討会」を設置し、行政当局と緊密に連携協働してよりよい改善の成果を実現すべく、統一行動することをごここに宣言します。

以上

平成23年1月26日

- 全日本遊技事業協同組合連合会  
理事長 原田 博
- 社団法人日本遊技関連事業協会  
会長 深谷 友尋
- 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会  
代表理事 高濱 正敏
- 一般社団法人余額環境整備推進協議会  
代表理事 宮 藤 森 大
- 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会  
代表理事 加藤 英 則



警察庁生活安全局保安課の加藤達也課長は祝辞の中で「業界における負の側面に対するリカバリーサポート・ネットワークの枠組みの中で、14 団体での支援を決定するなど成果を」と強調。更に「闇スロへの4号機使用の根絶、完全な回収への施策などの主体的な健全化への取組みも評価



『ホール5 団体風営法検討会』の設置を発表し、“統一行動”を宣言した5 団体の代表。右上が宣言文の原文



「パチンコ・パチスロ産業21世紀」としてリカバリーサポート・ネットワークを支援」と西村代表と共に4 団体が握手!!

## 日遊協／臨時総会

1月13日／東京・千代田区 グランドアーク半蔵門

### 新理事に山口悟氏、篠原菊紀氏を選出 報告事項では、篠原専務が遊技新法について言及

社団法人日本遊技関連事業協会＝日遊協、会長／深谷友尋氏＝は臨時総会をさる1月13日に東京・千代田区のグランドアーク半蔵門で開催した。当日は、定款の一部改正と欠員に伴う理事2名、監事1名の選任を行った。

役員を選任では新理事に山口悟氏（京業観光(株)社長）と篠原菊紀氏（諏

訪東京理科大学教授）を新監事に安藤利彦氏（(株)アスカ社長）をそれぞれ選出した。

また、報告事項で篠原弘志専務は民主党娯楽研がまとめた遊技業に関する法律案について言及。その中で「ホール団体を取りまとめながら、現行法の枠内において改善を要望すべき事項を



(上写真左から) 山口理事、篠原理事、安藤監事。右写真は祝辞を述べた平沢衆院議員(左)と同友会の高濱代表理事



まとめて行政当局と折衝したい」と報告した。

なお、臨時総会後に行われた新年懇親会には、平沢勝栄衆院議員、同友会の高濱正敏代表理事などが臨席した。